

# がん教育の手引き 別冊

外部講師を積極的に活用したがん教育

令和2年度  
長野県教育委員会



## はじめに

学習指導要領にがん教育が明記され、学校教育においてもがん教育の必要性が高まっています。児童生徒が現在及び将来に直面する可能性のあるがんに関する課題に対して、適切な思考・判断を行い、自らの健康管理や健康的な生活行動の選択ができる資質・能力の育成が求められています。

長野県教育委員会では、平成 26 年度より、文部科学省委託事業である「がんの教育総合支援事業」を活用して、がんの教育推進会議を設置し、モデル校におけるモデル授業の実践を通して子どもたちの実態を把握すると共に、協議を重ねてきました。

そして、平成 26 年度に作成した「がん教育の手引き」を基にがん教育の目標である、健康と命の大切さについて学び、自らの健康を適切に管理し、がんに対する正しい知識をもてるように、がん教育を学校の健康教育の中に位置づけて推進してきました。

本手引きでは、これまでの成果と課題を踏まえ、外部講師を積極的に活用することで、対象となる児童生徒の興味・関心や理解力など、発育・発達段階を十分考慮した内容や指導を一層心掛けることを考えています。そして、児童生徒が生涯を通じて健康で豊かな生活を送る上での基礎を培う資質・能力を育成できるように期待しています。

また、長野県は、豊かな自然に囲まれた環境の中で、減塩運動の推進にみる健康管理等、県民一人一人が健康に対する高い意識をもって生活を営んできたことから、全国でも有数の健康長寿県であります。健康長寿を目指すことが県全体のがん予防、がん検診等の意識向上につながることも期待しています。

結びに、本手引きの作成に際し、御協力をいただきました委員の皆様及び貴重な資料を提供いただきました皆様に、心から敬意を表するとともに感謝申し上げます。

令和 3 年 2 月

長野県教育委員会 教育長 原山 隆一

# がん教育Q&A

## Q1 がん教育において外部講師を活用するとはどういうことですか。

A 健康については、子どもの頃から教育を受けることが重要であり、子どもが健康と命の大切さについて学び、自らの健康を適切に管理するとともに、がんに対する正しい知識、がん患者への理解及び命の大切さに対する認識を深めることが大切です。これらをより一層効果的なものとするため、医師やがん患者・経験者等の外部講師を活用し、子どもに、がんの正しい知識やがん患者・経験者の声を伝えることが重要です。

参考資料：「第3期がん対策推進基本計画」【平成30年3月閣議決定】

第2-4-(3) がん教育 ・ がんに関する知識の普及啓発

## Q2 外部講師を活用するメリットは何ですか。

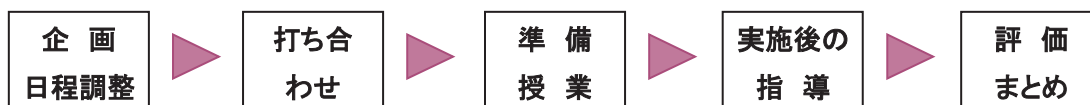
A 学校では、様々な形でがん教育が行われています。教員が行う授業に加えて、外部講師の方から、医療のことやご自身の体験に基づくお話を聞くことで、子どもたちのがんに対する理解が深まることのできた実践から明らかになってきました。長野県は「健康長寿世界一の信州」を目指して健康教育に力を入れています。長野県の子どもたちの健康のために、可能な範囲で、学校や地域の実情に合わせて外部講師を活用してみてください。

## Q3 外部講師はどうやって探せばよいですか。

A 県のホームページの「**がん教育外部講師リスト**」を参考にしてください。このリストには、対応可能な地域や校種、講義内容、謝金・費用、連絡先等の情報が掲載されています。これらを参考に下の**実施の手順**に沿って進めてください。時間の都合が付けば、一度お会いして打ち合わせをすることをお勧めします。

※地域の実情に応じて、学校医、保健師、薬剤師、管理栄養士の方々など学校の保健教育と関わりのある方と相談をしていくことも大切です。

### 【実施の手順】



※詳しくは、本冊子のP3～P4を参照してください。

## Q4 がん教育で何を学ぶのですか。

A どの段階で何を学ぶのか、表1を参考にしてください。

表1 がん教育において取り扱う内容例と各校種の学習指導要領（体育，保健体育）との関係

校種	小学校	中学校	高等学校
学習指導要領	体育	保健体育	保健体育
内容例	保健領域	保健分野	科目保健
1 がんとは(がんの要因等)		◎	◎
2 がんの種類とその経過			◎
3 我が国のがんの状況			◎
4 がんの予防	○	◎	◎
5 がんの早期発見・がん検診		○	◎
6 がんの治療		○	○
7 がん治療における緩和ケア			○
8 がん患者の生活の質			○
9 がん患者への理解と共生			○

◎：学習指導要領の主な内容である「理解すること」に当たる部分

○：内容を補足して触れるようにする部分

### 【留意点】

#### 1 学校教育活動全体での推進

がん教育の実施に当たっては、がん教育が健康教育の一環として行われることから、小・中学校学習指導要領(平成29年3月)総則 1-2-(3)を踏まえ、体育，保健体育，特別活動を中心に学校の実情に応じて教育活動全体を通じて適切に行うことが大切です。また、表1の内容例1～9を適宜関連付けて、理解できるようにすることや健康や命の大切さの認識については、小学校を含むそれぞれの校種で発達の段階を踏まえた内容で指導をすることが考えられます。

#### 2 外部講師の活用にあたって

表1の内容例5～7の実際や最新情報などは、医療関係者など外部講師の積極的な活用によって充実させること、8～9については、医療関係者やがん経験者といった外部講師を積極的に活用することにより児童生徒の理解を深めることが考えられます。

☆特別活動・特別の教科 道徳における取扱いについては、「がん教育の手引き」をご参照ください。

がん教育の手引き  
P97～P98 参照

「がん教育の手引き」とは、平成27年2月に長野県教育委員会で発行した手引きです。本冊子はその別冊のため、参照ページを紹介しています。

## 外部講師を活用した授業



### がん専門医

小泉 知展さん

信州大学医学部包括的がん治療学 教授

大学の医学部で、がん専門の若手医師の育成や診療・研究活動を行うかたわら、県内の学校で講演活動を行い、専門医の立場からがんの原因や治療方法、検診による早期発見、早期治療の大切さを伝えている。

### <生徒の感想>

- ・今日の講演会を聞いて、早期に発見するのと、進行してから発見するのでは、生存率が大きく異なることを知りました。そして、自分もがんにかかる可能性があることを知ることができたので、これからの生活や健康について見つめ直していこうと思いました。

### 小泉さんからのメッセージ

若い世代の皆様には、がんに対する正しい知識と「怖い病気」として避けずに立ち向かう姿勢を持っていただけるとありがたいと思い活動しています。検診による早期診断・治療の重要性やがん治療の実際を伝えてくれる先生方の参加・協力を歓迎します。



### がん経験者

重信 みどりさん

一般社団法人 グループ・ネクサス・  
ジャパン理事長

悪性リンパ腫の治療を続けながら、リンパ腫の患者さんや、そのご家族の方たちの交流会を続けている。県内の学校等で積極的に自身の体験等を講演している。

### <生徒の感想>

- ・がんと共に明るく生きている重信さんを見て、がんのイメージが変わりました。私が将来、がんになる可能性も十分あるし、家族になる可能性もあるけど、もしそうなってしまったら、私も明るくがんに向き合いたいと思いました。でも、一番は、規則正しい生活を送って、がんをなるべく防いでいきたいです。

### 重信さんからのメッセージ

生徒たちは、がん患者の私がこんなに元気に普通の生活をしていることが意外なようでした。そして「あなたの大切な人が、がんになったら何ができますか？」との問いかけに真剣に向き合ってくれました。がんという病気をむやみに怖がらないために正しい知識を子どもの時から学ぶ必要性を感じました。毎回、何気ないおしゃべりにたくさんの元気をいただいています。



## がん経験者

柿本 聡さん

熱傷患者・がんサバイバー・オストメイト

子どもたちに柔道の指導をするかたわら、リレー・フォー・ライフ・ジャパン信州まつもと実行委員会の副委員長を務め精力的に活動している。命の大切さを伝えるため県内の学校でがん患者としての自らの体験を語っている。

### <生徒の感想>

- ・がんは怖いし悩みも沢山あるけど、がんと共生しつつ元気に生活している人はいるし、一緒に患者サロンなどで共有しあえるということが分かり大切なことと思った。がん患者の方が今を大切に生きている。私たちが人生を諦めるとしたら贅沢だと思う。人生を精一杯生きたい。

### 柿本さんからのメッセージ

「がん」は確かに怖い病気ですが、私たちは今を生きていますよね。子どもたちに患者サイドの気持ちを伝えられるのは私たち経験者だけです。子どもたちが家族を、友人を支える方法の手助けのために、ご協力をお願いします。

「がん教育外部講師リスト」は、長野県教育委員会ホームページ（学校保健、給食、安全／長野県教育委員会で検索）に掲載されています。

詳細については以下のURL又はQRコードより検索してください。

学校保健, 給食, 安全／長野県教育委員会

検索



<https://www.pref.nagano.lg.jp/kyoiku/kyoiku/hoken/index.html>



問い合わせ先

長野県教育委員会事務局

保健厚生課

〒380-8570 長野市大字南長野字幅下 692 - 2

直通電話 026-235-7444

FAX 026-234-5169

# 目 次

## 第1章 指導編

- 1 がん教育の基本的な考え方 . . . . . P 1
- 2 「外部講師を活用したがん教育の授業」実施の手順 . . . . . P 3
- 3 「外部講師を活用したがん教育の授業」実施の留意点 . . . . . P 5

## 第2章 実践編

- 1 小学校
  - 指導例①「大切な命，自分の健康を守るために」 . . . . . P 10
  - 指導例②「上田が生んだ偉人 山極勝三郎先生の生き方から学ぼう」 . . . P 15
- 2 中学校
  - 指導例③「生活習慣病などの予防（がんの予防）」 . . . . . P 22
  - 指導例④『「いのちの学習」～中学生，専門医とがんを語る～』 . . . P 27
- 3 高等学校
  - 指導例⑤「健康を支える環境づくり」 . . . . . P 35
  - 指導例⑥「がんと健康」 . . . . . P 39
  - 指導例⑦「生涯を通じる健康～がんをサブテーマとした探究的な学び～」 P 42
- 4 外部講師を活用する際の様式例 . . . . . P 46

## 第3章 資料編

- 1 がん教育の実施状況調査結果 . . . . . P 59
- 2 健康長寿県としてのがん教育 . . . . . P 62
- 3 がんに関する長野県の状況 . . . . . P 64
- 4 参考資料 . . . . . P 75
- 5 県内相談窓口 . . . . . P 76